



市議 森 ケイ子

一般質問

## 低所得者に重い負担 — 介護保険新制度

介護保険の新制度によって、8月からは、介護サービスの利用料などの負担が1割から2割負担に、また施設利用者の食事や室料が軽減されていた人が本人所得だけではなく配偶者や家族の所得が合算されたり、預貯金の調査が行われ軽減措置がなくなったりと全国的に大きな問題となっています。江南市では、

その実態はどうか。質しました。

介護サービスの利用料が1割負担から2割負担となった人が326人で全体の9%。特別養護老人ホーム等の食費などの軽減措置が外れた人は、703人中103人で15%



に及びます。

2017年4月からは、要支援の人のデイサービスと訪問介護が「介護保険」から外され、市が主体となる「新総合事業」に移行し、資格のない有償ボランティアなども訪問介護にかかわることになり、サービスの低下になりかねません。今後も今までの水準を確保するよう要望しました。

こうした計画を策定する段階で、家族や介護の関係者をはじめ広く市民の意見を反映するようシンポジウムなどを開く事を求めました。

## 資源ごみの収集方法の改善を

高齢化が進み、ごみ集積場所が遠くまた立ち番に出られない人も多くなっています。資源ごみ収集を可燃ごみと同じ場所で曜日を決めて収集するようにできないかと提案しました。「収集経費の増加や集積場所の理解が得られるかなど様々な問題があり、当面『常設のごみ回収拠点の設置』や『休日の受け入れ拡大』等の検討を進めていきます」との答弁でした。

## 学校給食の衛生環境の改善を

学校給食センターの施設設備が老朽化し、調理員の健康管理にも支障が出ています。

夏場の温度湿度や調理員用トイレ設備は、文科省の「衛生管理基準」に適合しておらず、扶桑町で実施しているようなアレルギー対応給食の提供も江南市の現施設では困難です。このような状態の老朽化した施設を今後も延命するのではなく、建て替えを進めるべきです。

また、給食用メラミン樹脂製食器は、ホルムアルデヒドの溶出のおそれが否定できません。より安全性の高い材質に変更するよう求めました。

市教委は、「調理員用トイレの手洗い設備は順次整備を行い、給食センターの建て替えは、公共施設等総合管理計画の中で検討、給



食食器は次期買い替え時に変更を検討する」と答弁しました。

## 砂利採取の指導強化を

住宅地域での砂利採取をめぐり、業者と近隣住民との間でトラブルが発生しています。市環境基本条例にもとづき市民の良好な生活環境を守るために、隣接地土地所有者の同意取得の義務化など市指導要綱の強化を求めました。



市議 かけの 掛布まち子

一般質問

## 保育園調理室にエアコン設置を

幼児のための給食調理は、食中毒予防のため温度湿度の管理をはじめ万全の衛生管理が必要です。猛暑の夏場も使う保育園の調理室へエアコンの設置を急ぐよう求めました。



市議 東 よしき

一般質問

## 学供などに無線LANの整備を

学供や公民館などの公共施設は様々なグループ・団体の人達が利用しています。インターネットを使えるようにして生涯学習をより豊かにしてはとあらためて要望しました。

昨年2月から3月にかけて、5箇所の学供で利用者団体を対象にアンケート調査が実施され、インターネット環境整備

の希望があったのは宮田学供と布袋北部学供でした。

整備費用は1施設あたり約3万円、年間維持費約8万4千円、合計11万4千円ほどでできます。希望のあった宮田、布袋北部の2学供からでも整備できないかと要求しました。「地域間や他の公共施設との間に、サービス提供の格差が生じることは好ましくなく、将来的な整備計画を持って全体的な公共施設のあり方の中で検討していく」との



答弁でした。

## 交通安全対策に必要な情報管理の一元化を

「止まれ」の規制表示が消えかかっている同一の交差点で、立て続けに車同士の事故が発生し、警察官も現場に赴いています。事故原因につながると考えられる場合には、警察内部の担当部署に情報提供されるとのこと。



「止まれ」や「横断歩道」の標示が消えかかっている道路が目につき復旧が急がれます。規制表示の管轄は江南警察署のため、地元からの要望は市の防災安全課を通じて提出されます。それ以外に市の嘱託員である交通防犯教育指導員が随時江南警察署に提出しています。嘱託員が提出した要望も防災安全課として一括管理していくよう要求しました。「そのように管理していく」との答弁でした。

※ その他に、「マイナンバー制度の問題点について」、「人にやさしいみちづくりについて」の質問を行いました。